

1) システムの名称 :

RapideyeAgent™ (ラピッドアイ エージェント)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系 (部門情報システム、PACS、レポート系、モダリティ他)

3) 特色 :

放射線部門情報管理システム:RIS (Radiology Information System) 「RapideyeAgent™」は、病院情報システム(HIS)から検査オーダ受信、放射線部門における受付業務、放射線検査支援業務、統計・在庫管理業務をサポート、業務の効率化を図ります。

1. Web(Java)テクノロジーによる電子カルテへの容易なプラグインが可能です。

RapideyeAgent™はWeb(Java)テクノロジーを採用しており、クライアントPCには専用アプリケーションソフトをインストールせずに、Java動作環境含むWebブラウザだけで動作します。既設のPCや電子カルテの端末との併用が可能なため、低コストでの導入でき、設置スペースの改善が図れます。ソフトウェアはサーバで管理しており、導入後のバージョンアップや保守が容易です。

2. ユーザ指向のワークフローを実現します。

従来の放射線部門情報管理システム「TOSRIM」で蓄積した放射線部門の運用ノウハウに基づき、受付業務、撮影室業務等のワークフローに沿った操作性を実現しており、業務の効率化が図れます。

患者取り違えを防ぐために、受付・撮影室で患者IDカードやリストバンド/バーコードを端末で読込むことにより、患者確認が簡単にできます。

オーダ内容を各端末で確認でき、撮影室ではその内容をオンラインでモダリティに送信できるので入力の手間、間違いを軽減できます。

3. ポータルサイト&ホワイトボード機能の搭載により放射線部門内外の情報伝達がスムーズに行えます。

インターネットで知られるポータルサイトを“放射線部門ポータルサイト”として採用しており、掲示板やお知らせ、ローテーション管理等各種機能をコンテンツとして1画面に集約した”ホワイトボード機能”を搭載し、放射線部門でのコミュニケーションツールとしてご利用いただけます。必要な情報は他部門からも参照可能です。

4. 放射線部門経営指標ツールを提供します。(オプション)

部門経営、業務改善の指標となる各種情報(装置毎の稼働率、保険点数、検査数、患者待ち時間、検査時間など)をドリルダウンツリーで容易に抽出しグラフ表示等ができます。これらの情報を比較、傾向分析することにより部門経営、業務改善に繋がることが期待できます。

5. 画像システム(PACS)やレポートシステムと統合することにより、検査支援をさらに充実できます。

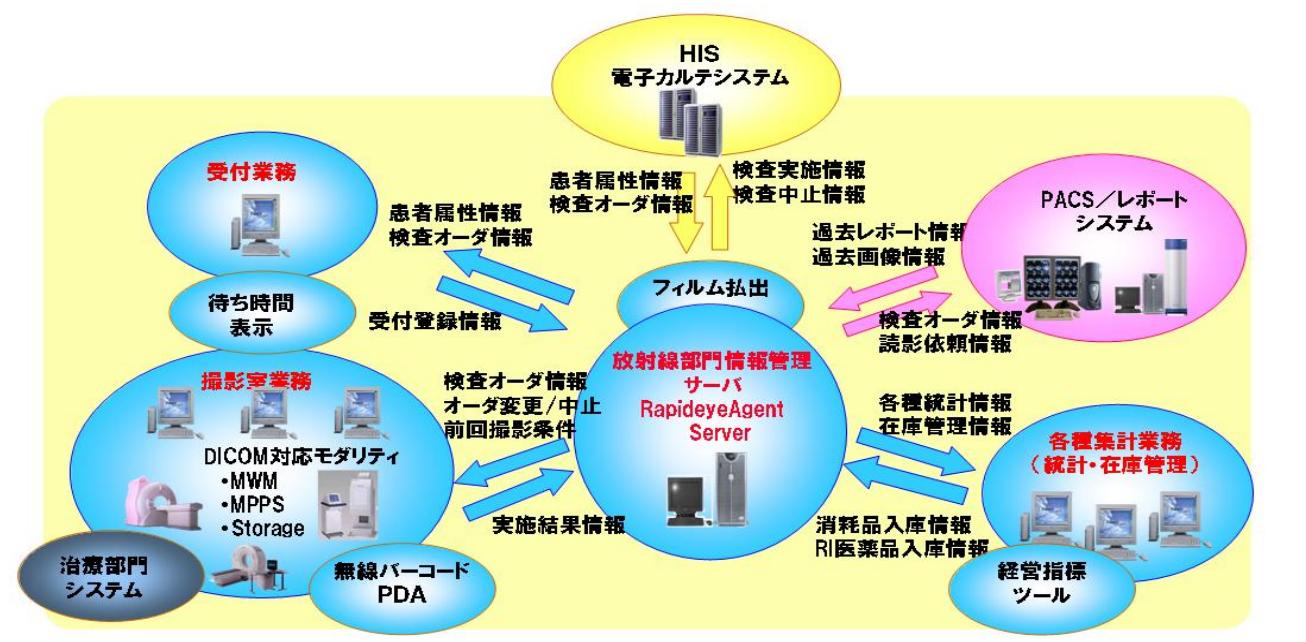
RIS 端末で該当患者の検査履歴から過去の検査画像や読影レポートをダイレクトに参照可能ですので、CT や MR の検査では、過去の疾患情報や詳細部位を確認して、正確な検査が可能です。

6. 放射線治療部門ソリューションを提供します。(オプション)

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

システムの概要

・放射線部門の各業務のフローを示します。



・操作画面例
《受付画面》



- 患者状態情報を表示
 - 前回撮影条件を表示
 - 検査中止を登録
 - 放射線医師の指示コメント入力/表示
 - 申し送りコメント入力/表示
 - 過去レポート/画像表示※*
- ※別途PACS/レポートシステムが必要です。

《撮影室画面》



DICOM MWMでオーダ情報をオンライン送信*、DICOM MPPSで撮影条件をオンラインで収集*するので、受診者を取り違えるミスを防止するとともに、手入力の手間を省きます。
*診断装置側の対応が必要です。

左側の枠から、造影剤、使用器材、手技・加算を登録できます。予め種別と部位毎にデフォルト値を登録し、検査毎の入力の手間を減らすことができます。
例)CR装置で撮影場合、デジタル加算をデフォルト設定

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

- (1) マスター/コード体系 : JJ1017
- (2) データ交換規約 : DICOM (Ver. 3.0) / MWM SCP, MPPS SCP
- (3) データ交換手法 : Socket
- (4) IHE-J コネクタソン実装 : HL7 (Ver. 2.5) / 患者情報(ADT)、検査依頼(ORM)、結果結果(ORU)

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合) :

* サーバ構成

オペレーティングシステム : Microsoft Windows 2000 Server SP2 以上、Windows Server 2003
使用ソフトウェア : Microsoft Internet Information Services 5.0 以上、
Oracle9i Database Standard Edition Release 2 以上、JDK V1.4.0_03、他
CPU : Intel Xeon 2.0GHz 以上(2 CPU) メインメモリ : 2Gbyte 以上

* クライアント構成

オペレーティングシステム : Microsoft Windows 2000 Professional SP2 以上、Microsoft Windows XP Professional
Web ブラウザ必須 : Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 以上、Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
CPU : Intel PentiumIII 700MHz 相当以上
メインメモリ : 512Mbyte 以上 (RapideyeAgent™稼動時、200Mbyte以上の利用可能メモリが必要)
モニタ解像度 : 1024 × 768 以上

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

運用調査/仕様確認、マスター一覧確認、HIS/モダリティ接続、システム運用試験、オペトレ・通常4~6ヶ月

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い) :

8桁 (他システム・モダリティ装置接続の相手方費用を含まず)

9) 保守の内容と費用 :

ご希望に合うよう、通常保守プランに加え、プロンズプラン (6年または9年間の長期HW保守) や運用管理のお手伝いをする運用保守サービス等の豊富な保守メニューをご用意しております。ご予算にあわせて見積もりいたします。(価格の5%~10%/年を目安にお考えください)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail等) および開発元 (もし別途あれば) :

お問合せ先 : 東芝メディカルシステムズ株式会社 S I 事業部 システム営業担当 小田 諭 (おだ さとし)

〒113-8456 東京都文京区本郷3-26-5 TEL:03-3818-2138 ; FAX:03-3816-4990

URL <http://www.toshiba-medical.co.jp/> e-mail satoshi.oda@glb.toshiba.co.jp